



優秀賞

会いたいなお母さん

京都市立高倉小学校 4年 中平 悠聖

ぼくは、一年生の二月にお母さんを病気でなくしました。

「お母さんはお空にいつても月や、星や、にじになって見てるからね。」と、なくなる前にいつていたとおり、弟の初登校の日には、弟が学校を出ると雨がふっていないのにじがかかっていたり、母の日にそうじをしているとだれもさわっていないけんぼんハーモニカを鳴らして知らせにきてくれたりします。

神社におまいりに行つたときや、七夕のおねがい事は、きまつて「お母さんに会えますように」だけど、まだお母さんに会えていません。

どうしたらお母さんに会えるかなあと時々考えることがあります。すごい悪いことをしたら、あのころの鬼のぎようそうで出てきてくれそうな気もするけど、せつかく会うのにおこらせるのはもつたいないなあ。やつぱりお母さんに会えるならほめられた方がうれしいな。

だから、勉強やサッカーをいっぱいがんばって会いたいな。

たまにお母さんを思いだして泣いたり、することもあるからしゅんでもいいからお母さんに会いたいな。